

榊さかき
松まつ

王わう
樹じゆ

御ご
下した
花はな

上

錦
堂
板

~ 13
3721
17



門へ13
3721
號
卷17

御
取
櫻

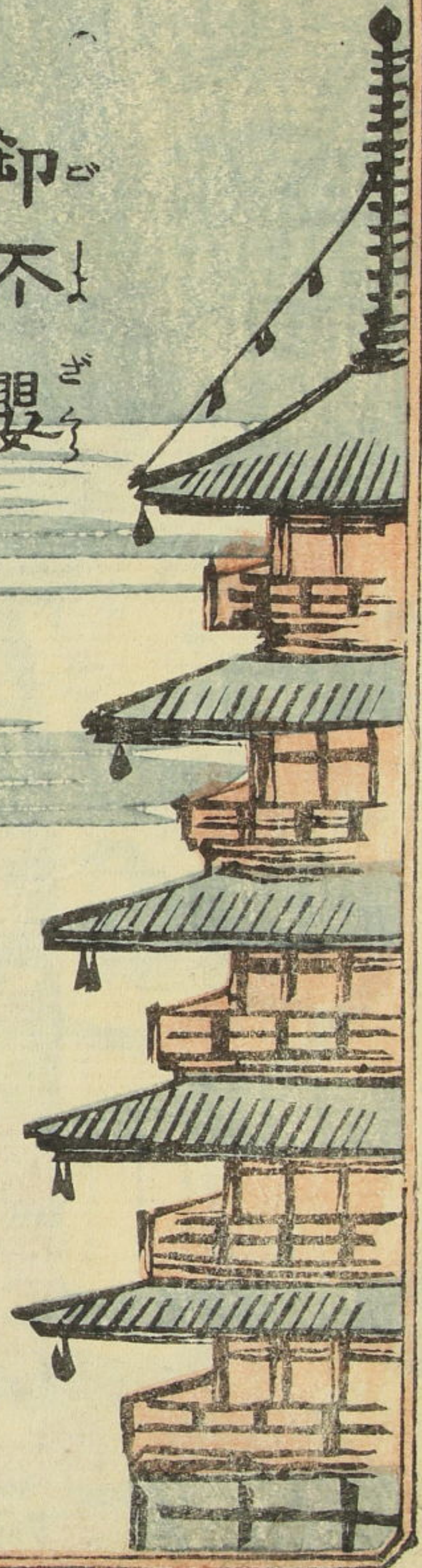
毒
杏
録

第九輯上卷

鶴亭作 錦朝樓画

山田屋上梓

乙丑初春新版



御所櫻梅松録第九輯叙

或翁の聞る緯あり凡書作るハ家造るガ如ク第一小學文の礎を
元とて詞の林の良材を搜り而して作意の柱立を倣し毫の芥を
以て彼を削り是を斫り升が上天尔遠波の造作の思を頻々めくとを
金殿玉樓の比ぶべき物語も作る故に其道を得る人を棟梁と
有るハ其僕如きの鼓大工の技番に争はる巧の譚作るべきは未だ
文の礎あり詞の林の良材得る緯を知む作意の柱立横の曲り
毫の芥の錆さる上小天尔遠波の造作杯ハ思ひの寄む所謂無
造作の淵鉄釘の折を集めて九尺二間の家ありと九編二冊の
稿を脱し割子擔ふ童子の與ふ爾云

春霞樓上の毫を添て

鶴亭秀賀戲記

巖





水
鏡

中
秋
霜



松
の
前

梅
松
金
六



梅松金九



ついでに... 松の... 柳の... 梅の... 金...

あつち... 松... 梅... 金... 柳...



あつち... 秋の... 柳の... 梅の... 金...

あつち... 秋... 梅... 金... 柳...

